

平成 27 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに関し、以下のとおり報告いたします。

学 部 名	経済学部
事 業 名	リーダーシップ教育を行うための能力とスキルの獲得
平成 27 年度実務担当者名	宮下 雄治
事 業 の 概 要	
<p>【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？（いずれかにチェック）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>計画通りであった <input type="checkbox"/>概ね計画通りであった <input type="checkbox"/>あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/>計画通りではなかった</p> <p>（以下、本年度の推進事業の概要について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）</p> <p>1. 本事業の「目的」、「内容」、「計画」</p> <p>本事業の目的は、「経営学特論（リーダーシップ）」の担当教員に対して、効果的な授業遂行に必要な①カリキュラム提供、②授業運営のサポートを、リーダーシップ教育に実績のある外部業者に委託し、担当教員がこの科目を担当する能力とスキルを向上させることである。</p> <p>具体的な内容は、平成 27 年度の後期科目に新設した「経営学特論（リーダーシップ）」において、本授業を担当する根岸毅宏教授（経済学部）と宮下雄治准教授（同）の 2 名が、立教大学のリーダーシップ教育のサポートに携わってきた（株）イノベストから、リーダーシップ教育の①カリキュラムの提供、②授業運営のサポートを受けることである。この 2 つを通して、根岸と宮下がリーダーシップ教育として本講義を遂行する能力とスキルを身に付ける。</p> <p>同社に委託する内容は、以下の通り、大きくは 4 つある。</p> <p>【具体的な内容】</p> <p>1) 14 回の授業アウトラインの提供 全授業の計画（全体像）を提示してもらう。</p> <p>2) 教材・資料の提供 授業内で実際に行うグループワークの教材・資料を提供、解説してもらうことに加え、リーダーシップやファシリテーションに関連する書籍を紹介してもらう。</p> <p>3) 授業評価&アドバイスの提供 授業内容や運営について評価やアドバイスを提供してもらう。</p> <p>4) 外部アドバイザー環境の提供 リーダーシップ教育に実績のある立教大学経営学部 BLP プログラムの担当者から、アドバイザーサービスを受ける。</p>	

これを踏まえた、具体的な計画は次の通りである。

【具体的な計画】

- 1) 14回の授業アウトラインの提供
学期開始前に提示してもらおう。
- 2) 教材・資料の提供
学期開始前と授業期間中に随時提供してもらおう。
- 3) 授業評価&アドバイスの提供
授業期間中、毎回の授業を立ち会い、評価してもらおう。
- 4) 外部アドバイザー環境の提供
学期開始前と授業期間中、アドバイザーサービスを受ける。

この計画にしたがい、授業開始前には、14回の授業アウトラインと教材の提供を受けるとともに、立教大学経営学部 BLP プログラムの担当教員より、本学でのリーダーシップ教育の実施についてアドバイスを受けた。授業期間中は、毎週、教材・資料の提供を受けるとともに、授業評価&アドバイスの提供を受けた。とくに授業評価&アドバイスの提供を受けるために、委託先のイノベストには毎回の根岸と宮下の授業に参加するとともに、授業終了後に 60~90 分の打ち合わせを行い、授業運営と内容について詳細なアドバイスを受けた。

このように、本事業は、当初の計画通りに事業を実施することができた。初年次のリーダーシップ教育を遂行する知識とスキルを担当教員が修得することができ、円滑かつ効率的・効果的な授業運営をすることができた。

2. 予算の執行について

平成 26 年度の本事業の当初予算は 1000 千円であった。ただし、労務委託費については、業者交渉により 21.6 千円減額し、972 千円のところ、950.4 千円となった。また、図書費は計画の 28 千円のところ、27.95 千円となり、その結果、予算執行率は 97.8%となったが、当初の計画事項はすべて実施した。